

第2学年 国 語

1 学習の進め方（中嶋）

- (1) 毎週末に漢字テストを行います。
- (2) 教科書に準拠して授業を進めます。
- (3) 話をしっかり聴いて、工夫しながらノートをとりましょう。
- (4) わからないことは積極的に質問して理解に努めましょう。
- (5) 相談の時間を生かして、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。
- (6) 硬筆書写教材やプリントなどを使って言語に関わる力を養いましょう。
- (7) 二学期末から書き初めに向けた毛筆の授業に取り組みます。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業に必要なものを忘れないようにしましょう。
…教科書、ノート、便覧、プリントファイル、ファイル、「例文漢字」（漢字ワーク）
書写では鉛筆、習字道具など
- (2) 字は楷書を使って、濃く、大きく、ていねいに書く習慣を身につけましょう。
- (3) 提出物は期限を守りましょう。
- (4) 自分から積極的に学習や課題に取り組みましょう。
- (5) 発言は大きな声ではっきりとクラスみんなに伝えましょう。
- (6) 教室は失敗をする場所です。失敗や間違いを臆せず自分の考えを発表しましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 日頃から読書や新聞等を通して活字に親しむ習慣をつけましょう。
- (2) 漢字の知識や文法についてはしっかりと復習して知識の定着を図りましょう。
- (3) 計画的に復習に努めましょう。

4 定期考査に向けての学習の取り組み方(基本的には中嶋の授業内容について作成します)

- (1) 教科書、ノート、プリント類をしっかりと読み直したり、見返したりしましょう。
- (2) ノート、プリント類に記入した内容が十分に理解できているか確かめましょう。
- (3) 漢字は正しく書けるように繰り返し練習しましょう。
- (4) わからないことがあったら、先生や友達に質問して理解できるようにしましょう。

5 2年生での学習内容…授業時間は、週4時間（中嶋3時間、吉岡1時間）年間140時間

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	見えないだけ 1 広がる学びへ	10月	5 論理を捉えて
5月	2 多様な視点から	11月	6 いにしへの心を訪ねる
6月	情報社会を生きる 3 言葉と向き合う	12月	読書に親しむ
7月	読書生活を豊かに	1月	7 価値を語る
8月		2月	8 表現を見つめる
9月	4 人間のきずな	3月	8 表現を見つめる

※上記以外に書写の授業があります。

6 評価・評定について

評価とは、国語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

＜観点別評価と評価材料＞

観点1 知識・技能

・我が国の伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴や使い方、漢字、情報の使い方などについて理解し正しく用いる。また文字を正しく整えて速く書く。

（定期考査、漢字テスト、書写等）

観点2 思考・判断・表現

A「話すこと・聞くこと」…相手や場面に応じ、適切に話すこと、表現の工夫を評価して聞くこと、問題解決に向けて話し合うことで、自身の考えを深める。

（発表、スピーチ、ディスカッション、朗読等）

B「書くこと」…目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書き、また文章を書くことで自身の考えを深める。

（定期考査、課題作文等）

C「読むこと」…目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、読書を通して自己の向上を目指す。

（定期考査等）

観点3…主体的に学習に取り組む態度

・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め国語を尊重する。

（定期考査、提出物の提出状況・内容等）

7 備考（注意事項・アドバイスなど） 特になし。

第2学年 社会科

1 担当教員

田中 秀幸

2 学習の進め方

- (1) 2年生では地理・歴史、3年生で公民を学習する
- (2) 教科書に準拠して授業を展開する
- (3) 単元によってグループで話し合いや意見を交換する時間を設ける
- (4) 状況に応じて小テストを実施する

3 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業では各自でノートを準備する。1年生の時に使用したものを継続して使用してください。地理・歴史・公民それぞれノートは分けてください。
- (2) ノートには板書したこと及び、説明の中で必要と思われることをメモしてください
- (3) 話し合い活動には積極的に参加しましょう

4 家庭学習の進め方

- (1) 授業内で書いたノートと教科書を照らし合わせて復習し、ワークの問題で確認する。
- (2) 予習をする場合は、教科書をよく読んでおく
- (3) テレビや新聞、インターネットなどでニュースを見ておきましょう

5 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) ノートと教科書を照らし合わせ振り返りましょう。ワークなどで問題をたくさん解きましょう。
- (2) 用語や地名などを暗記するだけでなく、それぞれの単元について説明できるように、理解していくことを心がけましょう。
- (3) 学習したことを誰かに説明できることを目標にしてください。

6 2年生での学習内容（授業時間は、週3時間、年間105時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	地理 ・日本のさまざまな地域 地理的な日本の特色	10月	地理 ・関東地方、東北地方の特色
5月	地理 ・日本の様々な地域 地理的な日本の特色	11月	地理 ・北海道の特色 歴史 ・室町時代
6月	地理 ・日本の様々な地域 九州地方	12月	歴史 ・大航海時代、安土桃山時代
7月	地理 ・日本の様々な地域 中国・四国地方	1月	歴史 ・江戸時代
8月	夏休みの課題 ※歴史上の人物調べ	2月	歴史 ・江戸時代、明治維新
9月	地理 ・近畿地方、中部地方の特色	3月	歴史 ・明治時代

7 評価・評定について

評価とは社会科で身に付けてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 社会的事象への知識・技能

日本の国土と歴史に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

（評価材料）定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点2 社会的な思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理や歴史に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

（評価材料）定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点3 主体的に学習に取り組む態度

授業やグループワーク、調べ学習などに積極的に取り組み、よりよい社会の実現のために課題を主体的に解決しようとしている。学んだことをいかし、活用できている。

（評価材料）授業内での発言、グループでの話し合い活動に積極的に参加しているか
ノート・ワーク等の提出物、その他状況に応じて課される提出課題など

6 2年生での学習内容（授業時間は、週3時間、年間105時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	地理 ・日本のさまざまな地域 地理的な日本の特色	10月	地理 ・関東地方、東北地方の特色
5月	地理 ・日本の様々な地域 地理的な日本の特色	11月	地理 ・北海道の特色 歴史 ・室町時代
6月	地理 ・日本の様々な地域 九州地方	12月	歴史 ・大航海時代、安土桃山時代
7月	地理 ・日本の様々な地域 中国・四国地方	1月	歴史 ・江戸時代
8月	夏休みの課題 ※歴史上の人物調べ	2月	歴史 ・江戸時代、明治維新
9月	地理 ・近畿地方、中部地方の特色	3月	歴史 ・明治時代

7 評価・評定について

評価とは社会科で身に付けてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 社会的事象への知識・技能

日本の国土と歴史に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

（評価材料）定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点2 社会的な思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理や歴史に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

（評価材料）定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点3 主体的に学習に取り組む態度

授業やグループワーク、調べ学習などに積極的に取り組み、よりよい社会の実現のために課題を主体的に解決しようとしている。学んだことをいかし、活用できている。

（評価材料）授業内での発言、グループでの話し合い活動に積極的に参加しているか
ノート・ワーク等の提出物、その他状況に応じて課される提出課題など

第2学年 理 科

1 担当教員

理科Ⅰ 小林 順子（週3時間）、理科Ⅱ 八木 望美（週1時間）

2 学習の進め方

小林【单元1】「化学変化と原子・分子」（化学分野）

【单元2】「生物のからだのつくりとはたらき」（生物分野）

【单元4】「電気の世界」（物理分野）

八木【单元3】「天気とその変化」（地学分野）週に1回、1年間かけて進めます

3 持ち物について

- (1) 教科書、ノート（理科Ⅰ）またはファイル（理科Ⅱ）、資料集（理科便覧）はいつも用意してください。（3点セット）
- (2) ワークは、指示をしたときに用意をしてください。ワークの答えは、1回目は学習ノートに記入をし、2回目以降は、ワークの本体に記入してください。提出する場合は、学習ノートを提出してください。
- (3) 筆箱の中に、いつもののりと定規を準備しておいてください。

教科書と資料集はロッカーに置いておいてOKです

4 授業では…

- (1) 理科Ⅰの授業で配られる㊟プリントは、基本的に「すべてノートに貼る」です。貼り方などは、授業で指示をします。理科Ⅱのプリントはファイルに閉じてください。
- (2) 実験室を使用するときは、使用上の注意にしてください。また、実験・観察ごとに薬品や実験器具・装置の使い方などの注意があるので、しっかりと確認をしていきましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、積極的に質問をしましょう。（授業中に質問できないときは、授業後や昼休み、放課後を利用する。）

4 家庭学習の進め方

- (1) 理科では、教科書の予習をする必要はありませんが、実験の前などは、実験の方法などを読んできてもらうときもあります。
- (2) 授業の復習が大事です。教科書をよく読み返し、ノートやプリントを見直したり、ワークで問題を解く練習などをしたりしましょう。（理科Ⅰは右のページを利用）
- (3) 自分で調べてもわからないことは、そのままにせず、積極的に質問してください。
- (4) 小テストの振り返りや定期テストのやり直しを行いましょう。

5 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、理科便覧、ノート、プリントをよく見直しましょう。
- (2) 実験・観察の手順や、注意点、なぜそのような操作を行うか、何がわかるのか等をよく理解し、ノートにまとめましょう。
- (3) ワークは1回目を学習ノートに、2回目以降をワーク本体で行いましょう。
- (4) 重要な用語は、覚えるだけでなく、説明できるようにすることで理解が深まります。

(5) 計算や作図、グラフの問題は、繰り返し何度も行うことが大切です。

6 評価について

●主体的に学習に取り組む態度 ●思考・判断・表現 ●知識・技能

3つの観点別でA・B・Cの三段階で評価します。

A…80%以上達成 B…79%～50%達成 C…49%以下達成

その後、これらの観点から5段階で評定をつけます

5…達成度90%以上 4…達成度89%～80%

3…達成度79%～50% 2…達成度49%～20% 1…達成度19%以下

〈実験プリントの評価〉	A+ →5点	A→4点	B→3点
	C →2点	D →1点	X→0点

●知識・技能

- ・基本的な科学的な概念や法則を理解しているか。
- ・実験器具を正しく、安全に使うことができるか。
- ・実験や観察の結果などの情報を丁寧に記録、整理し、活用することができるか。

～評価材料～①実験プリント、レポート課題

- ②定期テスト、小テスト
- ③授業ノート・プリント
- ④実技テスト

●思考・判断・表現

- ・実験や観察した結果を自ら分析し、わかりやすく表現することができるか。

～評価材料～①実験プリント、レポート課題

- ②定期テスト、小テスト

●主体的に学習に取り組む態度

- ・自ら学習に粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしているか。

～評価材料～①授業態度や実験の取り組みのようす

- ②授業ノート・プリント
- ③実験プリント、レポート課題
- ④提出物

第2学年 音楽

1 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定の確認
- (2) 発声練習、基礎練習
- (3) 練習（個人、パート、全体）
- (4) プリント学習
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 苦手なことにも前向きに一生懸命取り組みましょう。
- (2) 周りに遠慮せず、豊かに自己表現をしましょう。
- (3) 楽譜にしっかりメモをしましょう。
- (4) プリントの内容やわからないことをそのままにしないようにしましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 宿題や提出物は期日を守って取り組みましょう。
- (2) 実技テスト前は、家庭でも確認の練習をしましょう。
インターネットの動画や音源を利用して実技の練習をするのも良いと思います。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 基本的に授業で話したことを出題するため、授業内容をしっかり聞きましょう。
- (2) プリントにしっかり目を通しましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、質問しに来てください。

5 2年生での学習内容 (授業時間 週1時間 年間35時間)

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	歌唱：校歌 鑑賞：合唱	10月	歌唱：校歌 各クラスの自由曲
5月	歌唱：校歌 鑑賞：交響曲第5番「運命」 芸術鑑賞教室	11月	歌唱：校歌 各クラスの自由曲
6月	歌唱：夏の思い出 実技テスト（夏の思い出）	12月	器楽：三味線 実技テスト
7月	歌唱：校歌 各クラスの自由曲	1月	歌唱：卒業式歌 創作：旋律創作
8月	夏休みのため 授業なし	2月	歌唱：校歌、卒業式歌 鑑賞：オペラ「アイーダ」
9月	鑑賞：歌舞伎	3月	歌唱：校歌 卒業式歌 さようなら

6 評価・評定について

評価とは、音楽で身につけてもらいたい4つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この4観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【知識・技能】

定期テスト

提出物（ワークシート）

実技テスト（発声、歌詞の発音の仕方、身体の使い方、声の響きなど）

観点2 【思考・判断・表現】

定期テスト

提出物（ワークシート）

実技テスト（強弱や表情などの表現、曲にふさわしい音楽表現）

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

授業への取り組み（発表、ワークシート、授業振り返りシート）

実技テスト（歌詞、音程）

提出物（ワークシート）

第2学年 美術

1 担当教員

田 和

2 学習の進め方

- (1) 基本的技法を身に付けるます。
- (2) 参考作品や資料を基にアイデアを練ります。
- (3) 制作の順序を考え見通しを持つ。
- (4) 材料や用具を生かし意図に応じて工夫して表す。
- (5) 他生徒の作品の良さ、自分の作品の良さに気づき尊重する。

3 学習（授業）上の注意点

- (1) 表現することを楽しんで活動しましょう。
- (2) 表現したいイメージや主題を明確にしましょう。
- (3) 授業準備をしましょう。（材料、資料やアイデアに関するものを含む）
- (4) 授業時間の中で制作の時間配分を工夫しさがょうをすすめましょう。

4 家庭学習の進め方

- (1) 発想するための情報を集めましょう。
- (2) 学習内容に関連したものに関心を持ちましょう。
- (3) 情報を発想や構想に生かして表現したり、鑑賞したりできる体験を積み重ねましょう。
- (4)

5 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業課題に関連した教科書、資料集、プリント内容の確認。
- (2) 基礎知識を実技に活用できるようにしておきましょう。
- (3) テスト範囲に含まれる内容に関連した事に関心を持ちましょう。
- (4) 授業の振り返りをし、次へ生かしましょう。

6 2年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	自己紹介：花のスケッチ 鑑賞：私の一点	10月	季節感のある暮らしを楽しむ 「五感で楽しむ季節の和菓子」
5月	鑑賞：ゲルニカ 木彫なべしき：デザイン	11月	鑑賞：「時」 明暗の表現
6月	木彫なべしき：彫	12月	スクラッチ制作 下絵
7月	木彫なべしき 鑑賞：「和菓子」	1月	スクラッチ制作
8月	夏休みのため 授業なし	2月	スクラッチ制作
9月	鑑賞：北斎からゴッホへ 木彫なべしき：彫 仕上げ	3月	スクラッチ彩色 鑑賞

7 評価・評定について

評価とは、美術で身につけてもらいたい5つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1

- ・ 期末テスト
- ・ 実技テスト
- ・ 作品

観点2

- ・ 期末テスト
- ・ ワークシート
- ・ アイディアスケッチ
- ・ 作品解説カード

観点3

- ・ 期末テスト
- ・ 作品制作過程、提出
- ・ 授業への取り組み（授業カード）
- ・ まとめワークシート

8 備 考（注意事項・アドバイスなど）

第2学年 保健体育

1 学習の進め方

- (1) 四中ストレッチを行います。
- (2) 準備運動の後に主運動を行います。
- (3) 必要に応じて学習カードを活用します。
- (4) 必要に応じて映像の活用や示範を行います。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 体調が悪い場合はすぐに伝えてください。
- (2) 安全に留意して、真剣に取り組みましょう。
- (3) 教師の話をよく聴き、自ら考え、主体的に取り組みましょう。
- (4) わからないことはそのままにせず、聴くなどして解決しましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 自分に合った運動に取り組みましょう。わからないときは聴きましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業で学んだことを振り返りましょう。
- (2) 「図解中学体育」を活用しましょう。
- (3) 「新中学保健体育」を活用しましょう。
- (4) わからない時は積極的に聴きましょう。

5 2年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	陸上競技 体づくり運動	10月	ソフトボール 保健
5月	陸上競技 体づくり運動	11月	バスケットボール、長距離走 保健
6月	陸上競技 保健	12月	長距離走、跳び箱 保健
7月	水泳	1月	サッカー ダンス
8月	夏休みのため 授業なし	2月	サッカー、ダンス 保健
9月	保健 バレーボール	3月	ダンス、保健

6 評価・評定について

評価とは、保健体育で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【運動や健康・安全についての知識・技能】

運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能を身に付けることができる。

（評価材料）＊技能テスト ＊授業中の技能 ＊定期考査 ＊学習カード

観点2 【運動や健康・安全についての思考・判断・表現】

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

（評価材料）＊学習カード ＊授業中の表現 ＊定期考査

観点3 【運動や健康・安全について主体的に学習に取り組む態度】

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとしている。また、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をしようとするとともに、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

（評価材料）＊授業の取り組み ＊学習カード

第2学年 技術家庭（技術分野）

1 学習の進め方

- (1) 授業レポート記入・前時の振り返り・本時の予定
- (2) 作業の説明・諸注意
- (3) 作業
- (4) 片付け
- (5) 授業レポート記入・本時の振り返り・次回の予定

2 学習（授業）上の注意点

- ・ 技術の授業は、金工室を中心に使用します。
- ・ 授業開始前に、安全な実習にするため、先生の説明を聞くときは聞き、作業や活動に取り組むときは集中して取り組みましょう。
- ・ 作業の終わりには、片付け、清掃を行い、次の人が気持ちよく使用できるように、マナーを心がけましょう。その後、本日の進捗等を記入します。次の授業時、作業がスムーズに行えるよう、必要事項を記入しましょう。
- ・ 授業レポートは各自で保管します。ファイルは毎授業時に持参してください。
- ・ 授業レポートはその日のうちに仕上げる習慣をつけましょう。

3 家庭学習の進め方

- ・ 授業では必ず各自のレポートを持参してください。
- ・ 授業レポートはその日のうちに仕上げるのが原則ですが、授業進行が遅れている人は、次の授業までにお家で仕上げてください。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・ 授業で学習した内容をレポート等を中心に勉強します。

5 2年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	【C エネルギー変換の技術】 電気スタンドの製作	10月	【 A 材料と加工の技術 】 ペン立て付き文鎮の製作
5月	【C エネルギー変換の技術】 電気スタンドの製作	11月	【 A 材料と加工の技術 】 ペン立て付き文鎮の製作
6月	【C エネルギー変換の技術】 電気スタンドの製作	12月	【 A 材料と加工の技術 】 ペン立て付き文鎮の製作
7月	【C エネルギー変換の技術】 電気スタンドの製作	1月	【 A 材料と加工の技術 】 ペン立て付き文鎮の製作
8月	夏休みのため 授業なし	2月	【 A 材料と加工の技術 】 ペン立て付き文鎮の製作
9月	【C エネルギー変換の技術】 電気スタンドの製作	3月	【 D 情報の技術 】 計測と制御による問題解決

6 評価・評定について

評価とは、技術で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★ 観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

- * 期末考査 * 学年末考査
- * レポートの取り組み状況、作品の出来具合及び完成までの取り組み姿勢

観点2 【思考・判断・表現】

- * 期末考査 * 学年末考査
- * レポートの取り組み状況、作品の出来具合及び完成までの取り組み姿勢

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- * 期末考査 * 学年末考査
- * レポートの取り組み状況、作品の出来具合及び完成までの取り組み姿勢

7 備 考（注意事項・アドバイスなど）

- ・ 技術では危険な機械や道具を使用することが多いです。授業中はつねに適度な緊張感をもって安全第一で実習・作業・学習に集中して取り組みましょう。
- ・ 技術室は、他学年の生徒も使用します。使用後の整理整頓を常に心がけ、次の生徒が気持ちよく使用できるよう心がけましょう。

第二学年 技術家庭科（家庭分野）

1 学習の進め方

- ・家庭科の授業は教室で行いますが、授業内容によっては被服室で行う場合もあります。
- ・毎時間、ワークシートを配布します。板書したり、先生の話聞いてメモをします。
- ・授業の終わりには、今日のまとめを記入したワークシートを提出します。

2 学習上の注意点

- ・チャイムと同時に挨拶ができるよう、準備や着席をしておく。
- ・授業は私語をせずに集中して取り組む。

3 家庭学習の進め方

- ・学習した内容を家庭で実践する。
- ・授業プリントを参考に、教科書を復習する。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・授業プリントを中心に、教科書を復習する。

5 2年生での学習内容

月	学習内容	月	学習内容
4 ～ 7 月	1. 目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしいコーディネート ③和服の文化 ④衣服の選択 2. 日常着の手入れと保管 ①繊維に応じた衣服の手入れ ②洗濯の方法 ③補修や収納、保管	1～ 3月	1. 私たちの消費生活 ① 消費者としての自覚を持とう ② 販売方法と支払い方法について知ろう ③ 商品の選択と購入について ④ 消費者トラブルを解決する方法を考えよう ⑤ 消費者の権利と責任について考えよう ⑥ よりよい消費生活を目指して 2. 環境に配慮した消費生活 ①エネルギー消費を減らす方法を考えよう ① 持続可能な社会を目指そう 学習のまとめ
9 ～ 12 月	3. 生活を豊かにするものの製作 ①布による作品製作 ②製作の基礎・基本 4. 持続可能な衣生活 学習のまとめ		

6 評価・評定について

評価とは、家庭科の学習で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★ 観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

* 定期考査、実技テスト、プリント、教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題。

観点2 【思考・判断・表現】

* 定期考査、プリント、教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題。

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

* 授業への取り組み姿勢、よりよい生活の実現のために課題を主体的に解決している。

* 授業プリント、その他状況に応じて課される提出課題。

第2学年 外国語（英語）

1. 担当教員

岩間 康行、島田 裕也、山本 海人

2. 授業の進め方

- (1) 授業のはじめに「帯活動（英語の歌、Q&A,ディクテーションなど、毎回短時間繰り返しおこなう学習）」を行います。
- (2) 授業は教科書、ワークシート、ワークを使用して、たくさんの活動（トレーニング）を行います。
- (3) 「英文を理解する」 → 「音読できる」 → 「書くことができる」という流れで学習します。今年度は「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」をバランス良く取り組みます。

3. 学習上の注意点

- (1) 間違いを恐れず、積極的に取り組んでいきましょう。
- (2) 間違いを恐れずに大きな声で音読活動や声を出す活動に取り組んでいきましょう。
- (3) 英語は「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」など、実際に自分が使うことが求められます。授業だけでなく、家庭学習にも力を入れていきましょう。（特に「読む」、「書く」を中心に）
- (4) わからなかったことは、その日のうちに確認し、そのままにしないようにしましょう。
- (5) 忘れ物をしないようにしましょう。
持ち物：教科書、ワーク、ノート、ファイル、辞書、タブレット

4. 家庭学習の進め方 *復習に力を入れて取り組みましょう！反復練習が効果的です。

- (1) 教科書の本文を繰り返し音読練習しましょう。目標は「暗唱できるようになる（何も見ずにいうことができる）」です。教科書のQRコードや教科書CDを利用すると教科書の音声を聞くことができます。たくさん聞いて真似をしながら、ただ読むだけでなく発音やイントネーション等に気をつけて読めるようになりましょう。
- (2) 暗唱できるようになったら、ノートにその英文が書けるか、書いて練習してみましょう。書けなかった単語は繰り返し練習して書けるようにしましょう。
- (3) 英語を学習するときはできる限り、日本語訳せずに、イメージやジェスチャーで覚えるようにすると、英語を使いやすくなります。挑戦していきましょう。
- (4) 様々な形で英語に触れ、英語への興味関心を高めましょう。教科書の文だけでなく、英語の歌や映画等もおすすめです。

5. テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 音読を中心に取り組んでいきましょう。授業で触れた教科書、ワークシート、ワークの英文は全て暗唱できるようにすることを目標に取り組みましょう。
- (2) 暗唱できるようになった英文をノート等を書いて練習すること等に取り組んでみましょう。またワーク等を活用して、授業の復習に力を入れ、書く力を高めていきましょう。

6. 2年生での学習内容とテスト（予定）

（授業時間は、週4時間 年間140時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	Starter, Lesson1, Listen1, Talk1, Get Plus1, <u>単元テスト</u> , <u>音読テスト</u>	10月	Reading for Fun1, <u>中間テスト</u> , <u>Speaking test2（国紹介）</u>
5月	<u>中間テスト</u> , Lesson2, Listen2, Talk2, Get Plus2, <u>単元テスト</u>	11月	Lesson6, Listen5, Talk5, Get Plus6, <u>期末テスト</u> , <u>単元テスト</u>
6月	Lesson3, Get Plus3, <u>単元テスト</u> <u>Speaking test1（将来の夢スピーチ）</u> , <u>期末テスト</u>	12月	Lesson7, Listen6, Talk6, <u>単元テスト</u> , <u>Speaking test3(ALT との英会話)</u>
7月	Lesson4, Listen3, Talk3, GET Plus4, <u>単元テスト</u>	1月	Reading for fun2, <u>音読テスト</u>
8月	夏休みのため、授業なし	2月	1,2年生の復習, <u>Speaking test3(Q&A)</u> <u>学年末テスト</u>
9月	Lesson5, Listen4, Talk4, GET Plus5, <u>音読テスト</u> , <u>単元テスト</u>	3月	1,2年生の復習

7. 評価・評定について

評価とは、英語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 <知識・理解>

定期テスト、Speaking test、発表活動、単元テスト、ライティングテスト、リスニングテスト、音読テスト

観点2 <思考・判断・表現>

定期テスト、Speaking test、発表活動、単元テスト、ライティングテスト、リスニングテスト、音読テスト

観点3 <主体的に学習に取り組む態度>

定期テスト、Speaking test、発表活動、単元テスト、ライティングテスト、リスニングテスト、音読テスト、提出物

8. 備考

- ・定期テスト以外のテストやスピーチ等を欠席した場合、登校後、すぐに申し出てください。可能な限り実施していきます。
- ・提出物は期限を守って提出してください。欠席した場合、登校後、すぐに提出してください。
- ・授業中にタブレットを使う機会が増えてくると思います。使用目的を明確にして必要なこと以外には使用しないでください。使い方によっては学習に悪影響がでます。